

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2024年

2月

222号

- ◇ 人生最大のリスクとは？
- ◇ 人間の果たす使命、成仏を目指す
- ◇ 諸仏護念の信心堅固

今生きて

る

幸せ

玉川かく



宗教法人 真生会

<http://www.shinseikai-world.or.jp>

令和六年信仰目標

利他行を実践しよう!!

『幸せへの近道、一日二つ人のため!』

真生会の教えとは!

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声がけの実践

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

3月彼岸先祖大法要 / 会長先生ご巡教

- 3月17日（日） 大阪教会ご巡教
- 3月19日（火） 名古屋教会ご巡教
- 3月24日（日） 真生寺・岐阜教会

※ 3月の彼岸法要は会長先生のご巡教法要です。

お誘い合わせて是夫ご参拝ください！

詳しくは各教会にお尋ねください。

年始行事 / 初詣、新年法要、寒修行アラカルト



新年法要、大阪教会



初詣、短冊拝受（真生寺）



寒修行、大阪教会



寒修行、名古屋教会

Unicef より感謝状

昨年4月から「真生会いつでも救援募金」より、ユニセフのマンスリーサポート・プログラムに毎月¥5,000 合計¥45,000 世界の飢餓に苦しむ子供たちのために寄付を続けて来ました。この度、感謝状が届きましたので、誌上ご報告致します。継続寄付致しますので、一層のご協力をお願いします。



《利他行の実践》

「令和6年能登半島地震」義援金寄贈

◆◆「いつでも救援募金」より第1次先行緊急送金実施◆◆

☆ 1月15日 新宗連国際救援金を通じて下記団体に
¥, 100, 000寄贈

- ・ 寄贈先①「救える命があればどこまでも」
AMDA(アムダ) 国際医療ボランティア組織
- ・ 寄贈先②「最後の一人まで」被災地 NGO 協働センター

☆ 1月16日 日本赤十字社に ¥. 190, 000寄贈

第2次・3次の継続募金にもご協力下さい！

《直接募金》 教会常設「いつでも救援募金箱」

《振込募金》 三菱UFJ銀行 岐阜支店

宗教法人真生会救援基金（普通）0133193



開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁

《忍を保てば憂いなし》「忍」の一字をあらゆる角度から研究し、人生に「しのぶ」素晴らしさを身に付けましょう。

ある時は家にいるのが嫌になり、相手の顔を見るのも声を聴くのも煩わしくなつて、浮世を離れたくなつたり、どこか遠くに行つてみたい思いになることがあります。この時の軽はずみな行動が一番危険であり、信用を失う時です。一度なくした信用の挽回は並大抵ではありません。家が面白くないから一人旅に出たり、お据え膳で何不自由のない楽しいはずの旅行も長く続きますとお茶漬けが食べたくなつたり、わが家が恋しくなるのはなぜでしょうか。人生は忍ぶ所ですから、忍ぶことが無くなつてしまうと表面的には幸せそうでも、味もそっけも魅力もないから嫌になるのです。人間の素晴らしさは、恩を知つてこれに報いることと忍ぶ力があることです。

(1982年、真実に生きる33号より)

ぶし眞教法話

会長 田中庸仁
たなか つねひと



冒頭に「令和六年能登半島地震」で失われた尊い命のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災者皆様に心からのお見舞いを申し上げます。微力ながら義援金をもって一日も早い復旧復興に一助を捧げます。

◇人生最大のリスクとは？

『自分とは何か、自分の人生は何のためなのか』これが分からないのが人生最大のリスクです。生まれて来た限りは100%の確率で死がやって来るのに、何のための人生かわからない、自分がいつ死ぬかわからない。そして、どの順番で死を迎えるかわからない（老少不定）（ろうしょうふじょう）というリスクがあるのです。

阪神淡路大震災、東日本大震災、能登半島地震災害の惨状にまさかの変化（諸

行無常) というリスクを感じざるを得ません。しかし、みんながつながり合い助け合えば(諸法無我)、苦しみを乗り越え安心と安寧が得られます(涅槃寂静)。しかし、この仏さまの真理が信じられない人、実践できない人はすべてが苦しみになってしまうのです(一切皆苦)。

仙厓和尚(江戸時代の禅僧)が、正月に殿様から目出度いことを書けと言われ、「親が死に、子が死に、孫が死に」と書きました。すると殿様から「死ぬ」とは縁起が悪いと詰問され、「この順番で死ねたら、こんな目出度いことはない」と答えたという逸話があります。

必死必定は誰一人も逃れられない一大事なのに、趣味やカラオケ、ランチ、飲み会といった目先の楽しみや欲、煩惱のままに流されて生きているのが無信心の人や信仰の浅い人の現実です。

《のどかに流れる川で遊女と舟遊びをしている長者(凡夫)に、川岸から一人の修行者(仏さま)が「この川の先には恐ろしい大きな滝(死)があるから、早くこちらの岸(悟りの世界)に上がりなさい」と呼び掛けますが、長者はこの穏やかな流れの先に滝などあるはずがないと忠告を無視して舟遊びに興じて

います。すると最後には舟もろとも滝に落ち、命もお金も舟も名誉も遊女もすべてが滝の藻屑もくずと消えた」という仏説があります。

社会生活を生きて行く上では、「お金、学歴、地位、家」などは必要なものですが、突然起きる自然災害や死の前には「真に頼りになるものではありません」その頼りにならないものに一喜一憂しているのが凡夫の人生なのです。

◇人間の果たす使命、成仏を目指す

せつかく人間として生まれたら、人間として果たさなければならぬ使命があるのです。それは徳を積んで仏になる、つまり人格を磨き、今世の生あるうちに成仏（人格完成）の階段を一段でも上るといふ大使命です。人間に生まれ た時にしか人格を磨き、徳を積むこと（人に喜んでもらうこと）はできません。

その重大な使命から目を背けてそむいても、死は着実にそつと背後に近づいてきます。成仏するための人生とは、病氣や貧乏、失敗や絶望といふ地獄界から、健康で成功して大金持ちになるといふ天上界までの六道輪廻ろくどうりんね（地獄、餓鬼、畜生、修羅しゆら、人間、天上）の一喜一憂の不安定な人生から脱却し、変化に動じない人生を歩むことです。つまり成ったことを正しく受け止め、ありのままを喜

ぶという人生観を身に付けることを成仏というのです。

・一たびも南無妙法蓮華經と唱え奉れば。則ち事の一念三千正觀成就し。常寂光土現前し。無作三身の覺体顯れ。

たとえ一回でも「尊い命、尊い人生ありがとうございます」と心から歡喜して南無妙法蓮華經と唱えれば、現実の出来事を正しく見ることができ、目の前が極樂となり、すべての現象に仏さまのお姿とお心を見ることが出来るのです。

◇成仏の方法とは

すべてを感謝で受け止め、何事も喜びに受けることが成仏への直道です。世の中は苦の娑婆ですから、信仰をしても様々な苦に直面しますが、

・煩惱ありと雖も煩惱なきが如く

(病氣や貧乏や不和という悩み苦しみがあっても、苦にならなくなる)

・生死に出入すれども怖畏の想なけん

(生き死や大きな変化、苦悩があっても、恐れおののく思いをしなくなる)

・一切の法に於いて勇健の想を得ん

(どんな出来事に会っても勇氣が湧いてくる)とあります。

また、法華経の方便品の最後に「感謝の心、喜びの心」が成仏の鍵であると説かれています。

・心に大歡喜を生じて、自ら當に作仏すべしと知れ

(心の底から有り難いという大きな喜びを持つことにより、自ずと仏になれると知れ)

何事も喜びに受け止めるようになるには仏さまの智慧が必要です。その智慧は法話を聴聞することちようもんで身に付きます。月に一度や二度ではありません。何度も何度も法話を聞いて聞いて身に浸み込むまで聴聞することです。

開祖さまは「体のどこを切っても法華経の教えの血が流れなければいけない。どこかを切ったら自分流の血が流れるようでは本物ではない」と教えられました。

・若し法師に親近せば、速やかに菩薩の道を得、この法師に随順して学せば、恒沙の仏を見たてまつることを得ん

法華経を説く良き師に積極的に近づけば仏になる道を歩もうという気持ちが起こき、その良き師にすっかり付いて法を学べば、数えきれないほどの仏を見る

ことが出来るようになる。つまりすべての人の仏性が見えるようになり、苦や煩惱が無くなる。開祖さまはこのことを「相手を尊ぶ、人を悪く見ない。それが法華経の教えです」と分かりやすく説かれたのです。



◇諸仏護念の信心堅固

釈尊滅後に法華経の教えを体得するため方法としてしほうじょうじゆ四法成就という教えが説かれました。

その第一に「諸仏に護念せらるることを為え」とあります。何があっても、誰から誹謗中傷されても、動揺したりぶれたりしない固い信心、法華経の教えに間違いはない、きつと幸せになれるという微動だにしない信心を持ち「自分はすでに仏さまに守られているのだ」という絶対的の信念」で諸仏に守ってもらえる善い行いの行動するすることこそが、成仏という絶対的の幸せを獲得することが出来るのです。



18

見えない
まづげ
一番身近な
人に
守られてゐるのに
近すぎて
気付かな



日めくり解説⑩

私たちの人生は、いろいろな人に守られて生活しているのです。三度の食事も毎日の衣服も、会ったこともない農家の方や職人さんが手間暇かけて作って下っていただければこそお腹もふくれ、きれいに着飾ることが出来るのです。体も色々なパーツに守られています。爪は作業をする時、指先を怪我から守っています。まづげも私たちの目をほこりや飛び込んでくる異物から守ってくれていますが、近すぎてまづげを見ることはできません。私たちは毎日、親や兄弟に守られているのですが、身近過ぎて当たり前になり気付かないのです。家族のお蔭に気付ける生活は心豊かです。

19



相手は鏡

自分の姿が

写つてくる

くわばら

くわばら

鶴亀

鶴亀



「たいしやがきよう対者我鏡」という教えがあります。自分に相對する人の姿は、自分の心の鏡であるということです。人の振り見て我が振り直せ、目の前の人が鬼のような怒りの顔や不平不満の愚痴の顔であれば、それは自分の心の中に怒りや愚痴が溜まつている証拠です。くわばらくわばら（ああ恐ろしい、ああ醜い、怖い怖い）温厚で笑顔の優しい人相の良い人に接したら、鶴亀鶴亀（ああ目出度い目出度い、縁起がいい）自分も運が良くなる兆しです。

世の中は自分の心と等しい人が集まつて来るのです。自分自身が喜びと感謝の心になりましょう。

今月の運勢（3月）

（2024年3月5日～4月3日）

一 白水星

人と親しく交わり、助け合うことが大切。あまり親しくなかった人も集まって来るが、遅れてくる人には要注意。コツコツ地道に進むこと。後半から運氣上昇、焦らないこと。

二 黒土星

人間関係や計画などが壊れていたことが回復する。枯れ木に花を咲かせ、去った人が戻って来る。小さな希望の芽を見逃すことなく大切に育てること。すべては元通りになるので積極的に行動しよう。

三 碧木星

周囲の環境に惑わされ

ず、何ごとも一貫性を

もって長く続けることが大切。互いに長所を發揮し互いの役目を果たすこと。不正な動機や持続性のない行動は凶を招くので注意。

四 緑木星

遠くにまで手を伸ばし販路を広げたり、積極的に人脈を広げる時ではない。腰を落ち着けて自分を見直し、周囲の状況も見直しながら今後に備えて力を蓄えよう。

五 黄土星

新しいことを始めるより、やって来たことを完成させる時。年長者の応援も得られるので

経験者や徳人の助言を

参考にするとよい。何事もスピード感をもって進めること。

六 白金星

収穫の時を迎え、楽しい出会いもあるが分相応の行動を心掛けること。何事も喜びをもって行動すれば、虎の尾を踏むような異常事態も柔よく剛を制して乗り越えられる。

七 赤金星

大きな問題に直面して変化の時を迎えているが、動機が正しければ目的は必ず通る。訪れる問題を心の底から喜び、感動感謝すること。無私無我の思いで行動

すれば大きな問題も乗り越えられる。

八 白土星

山が太陽の日に照らされ一見華やかであるが、太陽の明るさも山にさえぎられて遠くには及ばない。つまり小さなことを行うには良いが大きなことに乗り出す時ではない。

九 紫火星

運氣は低く今一步という未完成の状態だが、未完成には希望という魅力もある。一筋の光明を信じて剣難という河を渡る時である。諦めずに進むならば必ず渡河できることを信じよう。願い事は通る。

しあわせ眼鏡

日本人の心の源流
「名こそ惜しけれ」
自分の名に恥ずかし
い行いをしない。
困っている人を見捨
ててはおかない。
利他の心は日本の
宝、忘れないように
しましよー！

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | |
|---------------------|--|
| 【総本山真生寺】 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
T E L 058 - 235 - 7304 |
| 【岐阜教会】 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19
T E L 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
T E L 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】 〒 454-0808 | 名古屋市中区九重町 3 - 10
T E L 052 - 351 - 3904 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします